

令和4年産

大崎稲作情報 第3号

令和4年6月14日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

中干し前までは、浅水管理や間たん灌水を行いましょう。中干しは有効茎数に達したら行いましょう。

※生育の遅れているほ場では浅水管理を励行しましょう。

補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょう。いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。

1. 気象経過

- 5月第6半旬は、まとまった降雨があり、最高気温が低めでした。6月上旬は、低温少照多雨となっています。6月2日には、降ひょうにより野菜などで被害が発生しています。

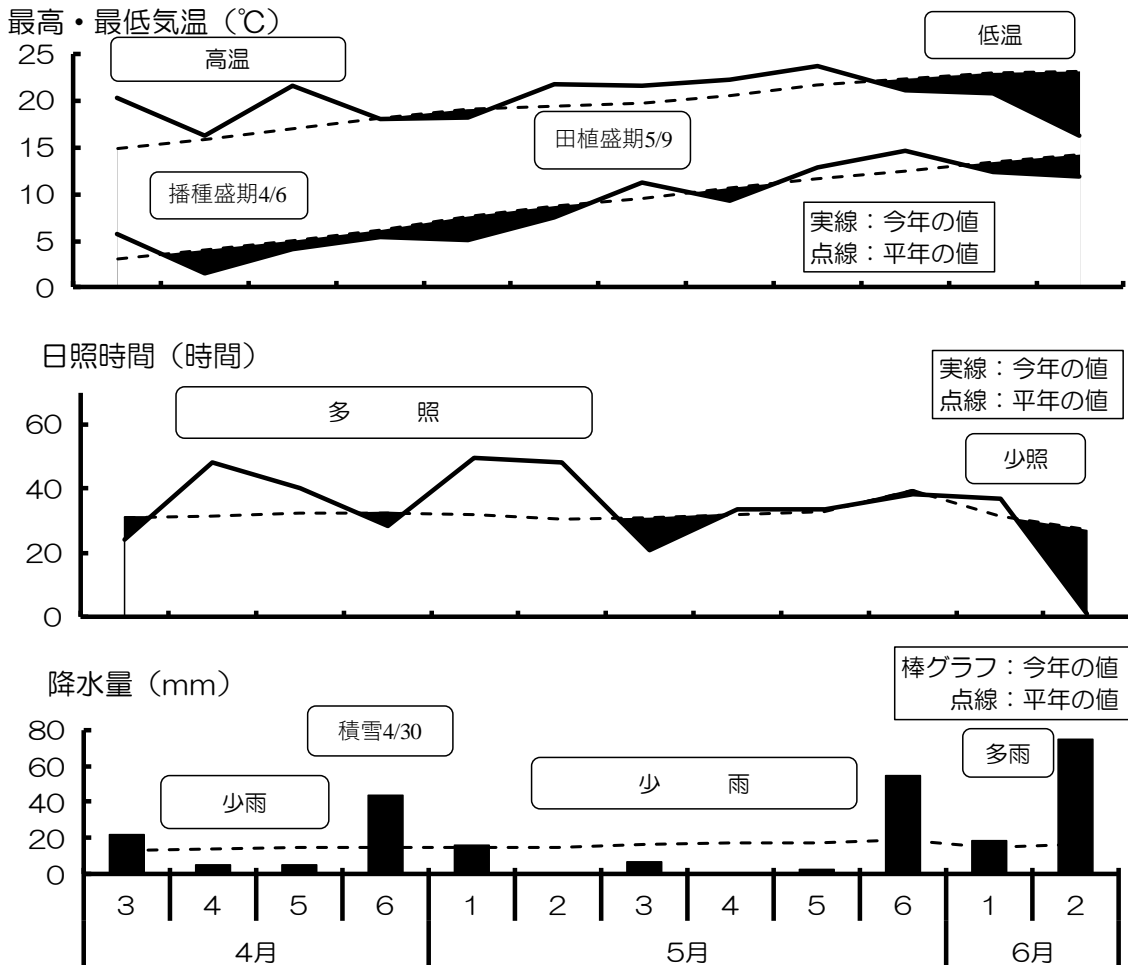


図1 4月第3半旬～6月第2半旬の気象グラフ(古川アメダス)

2. 生育概況（6月10日現在）

- 6月上旬は気温と日照時間が平年を下回り、生育は停滞しています。ほ場により差はあるものの、草丈は平年よりも短く、莖数は少なめ、葉数は平年を下回っています。葉色も平年よりも淡くなっています。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	莖数(本/m ²) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月4日 (+1)	26.7 (92%)	297 (102%)	6.4 (-1.1)	39.7 (-2.7)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月16日 (-1)	27.8 (96%)	106 (53%)	5.9 (-0.5)	32 (-6.2)	
ササニシキ	大崎市古川	5月7日 (-2)	28.7 (95%)	149 (73%)	6.5 (-0.4)	32.1 (-4.8)	
つや姫	色麻町四竈	5月4日 (+1)	29.3 (96%)	299 (86%)	7.5 (+0.5)	42.3 (-4.8)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月15日 (-1)	30.3 (94%)	99 (61%)	5.6 (-1.4)	32 (-7.6)	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	5月14日 (+4)	26.2 (83%)	160 (69%)	5.9 (-1.9)	33.2 (-7.1)	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	5月10日 (-4)	31.7 (99%)	315 (128%)	6.3 (-0.6)	35.2 (-4.2)	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 (+1)	18.3 (74%)	71 (123%)	4.6 (-0.6)	23.5 (-9.9)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月17日 (-1)	25.3 (87%)	152 (70%)	5.6 (-0.9)	27.0 (-8.7)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月6日 (+2)	16.6 (94%)	115 (77%)	4.2 (-0.6)	- (-)	
平均 (平年値のあるほ場のみ)			28.0 (94%)	204 (85%)	6.1 (-0.7)	33.2 (-5.3)	

※平年比・差は前5か年（平成29年～令和3年）の平均値との比較

平年値のないほ場は前年比・差での比較

3. 今後の管理

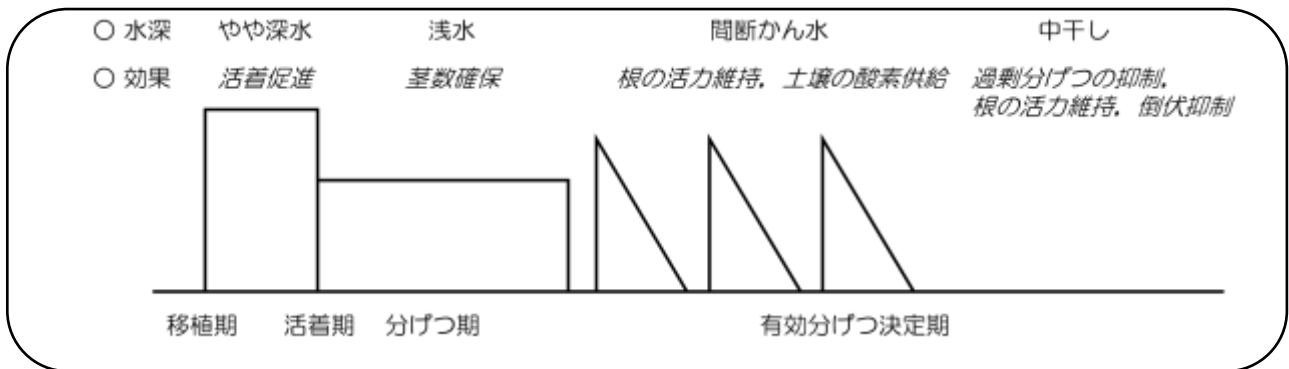
1) 水管理 浅水管理・間断かん水の実施

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、適切な水管理を行いましょう。

- ✓ 生育回復の遅れているほ場では浅水管理により、分けつの発生を促しましょう。
- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょう。中干しは目標莖数に達したら実施しますが、今年度は莖数の増加が緩慢なので、生育状況をよく確認の上実施しましょう。

目標莖数の目安

ひとめぼれ 410本～460本/m²
ササニシキ 480本～510本/m²
だて正夢 350本～400本/m²



2) いもち病防除 補植用苗は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 飼料用米や直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は、水面施用剤を散布しましょう。

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

シートベルトを着用することで死亡事故の発生を大幅に低減できることを踏まえ、農業者に対して、乗用型トラクター運転時のシートベルトの装着徹底の呼びかけを行っています。

重点推進テーマ 「しめよう！ シートベルト」

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「農薬は 周りに配慮し 正しく使用」

東北地方 1 か月予報

(6月11日から7月10日までの天候見通し)

令和4年6月9日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

1週目は気温が低く、2週目はかなり高くなる可能性があります。気温の変動が大きい見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	20	40	40
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	50	40	10
2週目	東北地方	10	40	50
3~4週目	東北地方	20	40	40

水稻乾田直播情報

乾田直播栽培の生育調査をしました。苗立本数は目標の150本/m²に近い139本/m²で、推定発芽率は63%でした。6/10調査結果は草丈が10.7cm、莖数が141本/m²、葉数2.3枚となっています。低温少照の気象の影響で停滞気味ではありますが、概ね順調に生育しています。雑草の発生が目立ってきていますが、除草剤を入水前処理→入水後処理の体系処理を行い対応する予定です。



6/3の生育状況



6/10の生育状況

